

📅 10月2日 各市町村庁舎等

介護給付適正化にかかる市町村実地支援

医療情報突合・縦覧点検の疑問点解消へ

熊本県 認知症対策・地域ケア推進課では、市町村における介護給付適正化の取り組み強化を目的として、市町村実地支援を実施している。例年、その実地支援に本会担当職員が同行し、本会から市町村へ提供している介護給付適正化に係る情報の有効活用に向けた説明を行っている。

今年度は9月から11月にかけて、希望のあった16市町村への実地支援に同行し、各市町村の実際の帳票を使用して説明を行った。

10月2日に実地支援を行った南小国町では、まず担当者に現在の「医療情報突合・縦覧点検」の取り組み状況について確認したうえで、これまで点検を行った「医療給付情報突合リスト」と「縦覧点検に関するリスト」の中で疑問点を挙げてもらい、その疑問点に対する説明を行った。



また、事前に本会で確認した過去数ヶ月の同町のリストの中で、特に縦覧点検で事業所へ確認すべきと思われるものや、まだ活用されていないリストの見方について、詳細に説明を行った。

本会から各市町村へ毎月提供している介護給付適正化に関する情報は、種類が多く市町村によって内容にばらつきが見られる。そのため、その市町村ごとの実際の帳票を確認しながら、担当者に直接説明できる実地支援は、市町村と本会にとって効率的な支援の機会であるとともに、双方の連携強化や介護給付費適正化に繋がっている。